

使いやすさで選ばれる帳票システム

インタビュー

インフォテック株式会社


<https://www.iftc.co.jp/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25

・事業内容：ソフトウェアの開発、製造、販売および保守／
情報処理に関する一切の業務

・設立：1969年10月9日

・資本金：2億500万円

・拠点：東京本社



帳票の電子化、運用からクラウド保管まで

インフォテック（旧日本流通システム株式会社）は1969年（昭和44年）10月設立から、今年でちょうど50周年を迎えます。オペレーション業務の請負から始まり、現在ではシステムインテグレーション、クラウドサービス、ビジネスプロセスマネジメントのサービスと、帳票ソリューションの「Create!Form（クリエイトフォーム）」、電子決裁ワークフローの「Create!Web（クリエイトウェブ）フロー」、人脈情報可視化ソリューションの「Clustopolo（クラストポロ）」を提供しています。

紙を電子化するための帳票作成システムCreate!Formをささげにそのノウハウを活かし、電子帳票による決裁ワークフローシステムCreate!Webフローを作りました。それぞれは別製品ですが一貫した流れで作っており、クラウドサービスとも組み合わせてトータルシステムでの提案も可能です。

帳票に特化したソリューションCreate!Form

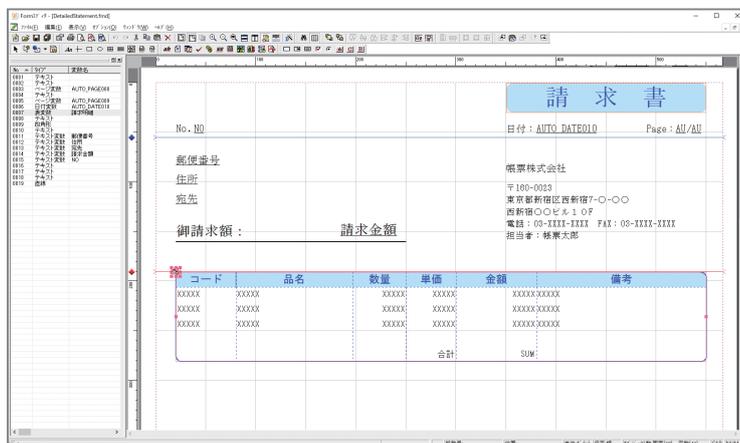
Create!Formは、簡単キレいに帳票をデザインし、運用業務の要件に合わせた多彩なフォーマット（PDF出力、HTML（SVG）生成、Excel出力、プリンター印刷）で高速に出力する帳票作成ツールです。

帳票出力では、1998年より紙の印刷からPDF出力への

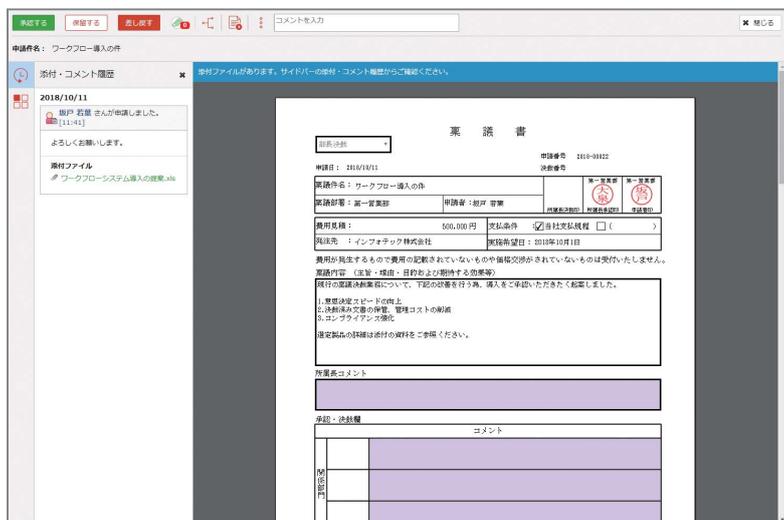
対応、取り組みを始め、その後PDFの普及に伴い帳票業界全体が伸び、当社製品も大きく成長しました。また2004年には、帳票出力のエンジンを使ったワークフローシステムCreate! Webフローを開発して市場に展開しています。視覚的に見てわかりやすい帳票出力は当社の得意分野です。

電紙決裁ソリューションCreate!Webフロー

Create!Webフローは紙の申請・決裁業務をそのまま電子化したワークフローシステムです。交通費精算や勤怠業務の電子化はかなり浸透してきてはいますが、稟議書や出張、接待申請の



Create!Formの帳票設計画面。マウス操作で項目を配置するだけで作成できる。



Create!Webフローの入力フォーム。紙に記入・押印する感覚で入力できる。

ような申請は未だ大手企業でもなかなか100%紙から離れることができていません。紙帳票の方が使いやすい、見慣れているという意見から、Create!Webフローでは、ブラウザ上に紙書類と同じ帳票レイアウトのGUIを採用しています。

一般的にシステムはブラウザ上に入力ボックスを配置したフォームとなっていますが、Create!Webフローの入力フォームは紙と同じデザインなので、紙から電子に切り替わってもすんなりとわかりやすく使いやすいのが特長です。慣れ親しんだものがそのまま使えて導入しやすいと好評です。

電子化はPDFだけじゃない

Create!Formの新製品として2016年に「Create!Form Screen」を作りました。

これは帳票をブラウザに直接HTMLで描画するシステムです。電子化はPDFだけではなくてもよい、もっと先のことにも挑戦したいと考え、HTMLファイルで帳票を作るという視点で開発を始めました。

Webシステムで表示される帳票の場合、PDFだと環境によっては閲覧できなかったり、PDFファイルがローカル環境に保存されるためセキュリティ上の心配があるといった問題がありました。HTML帳票では専用ビューワやプラグインを必要とせずブラウザのみで閲覧でき、ブラウザ側でセキュリティ対策しておけば安全といったメリットがあります。

いったん保存してあとで印刷したいという要望がまだかなり多いので、そのような使い方をされるお客様にはPDFの出力を勧

め、印刷せず画面で閲覧できればよい、新しいデバイスでも見た目が変わらずに同じような表示をしたい、というお客様にはCreate!Form Screenをお勧めしています。データ保管も重要ですが、ワントタイム閲覧だけの帳票ニーズもあります。

電帳法、e-文書法の質問が増加

昨年9月末にJIIMAに入会しました。当社の帳票システムやワークフローを利用するお客様から決裁された文書の証拠能力について、タイムスタンプや電子署名を付与したいといった要望が増え、e-文書法、電帳法の正確な情報を把握し、会員同士の交流など情報交換ができればと思ったのがきっかけです。

当社事業は独立していて、あまり他社との接触がなく業界のネットワークを持たずにいましたが、今どきそれでいいのかといった疑問もありました。そんな中、タイミング良くお誘いいただき、いいご縁だと思って加入することにしました。

お客様と電帳法の話になると専門的な質問をされ、今までは又聞き回答をしてよいのかと困ることもありましたが、これからは私たちがJIIMA会員として直接回答できるのは大きなメリットだと考えています。

また、当社は資格取得を推奨しており、合格者は本社玄関に顔写真入りで発表し、報奨金も出しています。JIIMAの文書情報管理士資格も今後社内で広めて、資格者を増やしていこうと考えています。

次なる課題にJIIMA会員と共に

社内での電子文書化はある程度当たり前になってきて、今後は、企業間での取引で電子文書情報をどう扱っていくか、という範囲が変わってきます。そうするとコンプライアンスやルールが厳しくなっていくといった新しい課題が出てきますので、企業を超えてのルール化を進め、そうした中で新しい製品の投入やサービスで貢献し、JIIMAを通じた政府などへの提言にも協力できたらと考えています。

帳票ツールで26年、ワークフローも15年目になりました。JIIMAを通じて得たい情報もありますが、ひょっとしたら当社も電子承認、決裁についてのノウハウなど、なにかお役に立てるような情報を持っているのではないかと、他社と情報交換していけたらとも思います。



帳票システムの先の電子化に踏み出したい
 プロダクトソリューション統括部 プロダクトソリューショングループ (右から)
 グループリーダー 尾河 昌和 氏
 マネージャ 岡田 英一 氏

100%の電子化を目指して

今まではライセンス販売をメインとしてきましたが、これからは製品ライセンスだけでなく、導入構築やその他のサービスに事業範囲を拡大していくつもりです。

世の中はどんどん電子化が進み、それが当たり前になってき

ましたが、まだまだ紙が残っているのが現状です。当社製品は紙に似せた帳票イメージを踏襲し、日本人のユーザーニーズである「印鑑文化」を守りつつ電子化するものですが、今でも新規で購入するお客様は完全には紙から抜け出せずにいます。会社の中でも業務ごとには100%の電子化に成功しているものの、「部署間」や「会社間」でのやりとりでは、まだまだ紙でのやり取りが残っています。なかなか電子での運用ができていません。

弊社のサービスで、このような部分もすべて電子化していけるソリューションを提供していきたいと考えています。「ビジネスドキュメント」といった分野での事業領域の拡大と貢献をしていきたい、というのが現在の目標です。良いシステムが入っていてもこの帳票だけは紙のままがいい、という企業が多く、この課題に対しユーザーがストレスなく電子化に移行できるようにしよう、といったところを当社が提案していきたいと考えています。

JIIMA会員の皆様とも今後の電子化について、情報交換を行いながら、共に次のステップを踏んで成長していきたいと思えます。

EM2015 プライベートクラウド・エンタープライズシステムは QCD+S で理想的な運用を実現します。

- Q**品質の向上
- C**コストの削減
- D**納期の順守
- S**セキュリティの強化

JIS029キーボード



※信頼性と耐久性に優れた「静電容量方式(無接点)」を採用しました。
 ※キーの荷重が30gのため、指への負担が少なく疲れにくい設定です。

株式会社 ハツコ-エレクトロニクス

■お問い合わせは
 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-8
 Tel.03-5645-1561 FAX.03-5645-1563
 sales@hatsucoh.co.jp
<http://www.hatsucoh.co.jp>